

—大学院美術研究科（修士課程）の教育・研究目的—

美術研究科修士課程は、独創的で多様な研究を背景に、幅広い視野の下に専門性を深め、もって高度な創造・研究能力を有する人材を養成し、国内外の芸術文化に貢献することを目的とします。

◆アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

美術研究科修士課程は、次のような学生を求めています。

- 1 芸術および文化に対して幅広い興味、深い理解を持っている学生
- 2 新しい芸術の創造に意欲を持っている学生
- 3 自ら課題を見出す洞察力と、その解決に必要な知識、思考力および造形力を持っている学生

◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

美術研究科修士課程は、以下を目的としたカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 専攻を横断する本学独自の開かれた「創造の現場」を通じた専門性の深化
- 2 表現および研究の実践に必要な専門性の高い知識の教授
- 3 個々のテーマに合わせた密度の高い指導による、自ら研究する能力の養成

◆ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

美術研究科修士課程は、修了時まで達成すべき目標を以下のとおりとします。

- 1 芸術に関わる専門性の深化
- 2 広範な視野に基づく、独自性をもった表現や研究方法の確立
- 3 自己の課題を解決し、その成果を社会に発信する力の修得

京都市立芸術大学大学院美術研究科（修士課程） 学 生 募 集 要 項

1 募集人員

（標準修業年限 2年）

専攻分野	専攻細目	募集人員
絵画専攻	日本画 油画構想設計 版画	26名
彫刻専攻	彫刻	5名
デザイン専攻	ビジュアル・デザイン 環境デザイン プロダクト・デザイン	9名
工芸専攻	陶磁器 漆工 染織	13名
芸術学専攻	芸術学	3名
保存修復専攻	保存修復	2名
計		58名

注 試験の成績により、合格者数が募集人員から増減する場合があります。

2 出願資格 注（1）～（9）のいずれかに該当する必要があります。

- （1）学校教育法第83条に規定する日本の大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- （2）学校教育法第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに学位取得見込みの者
- （3）外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- （6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに学位取得見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに22歳に達する者

注 出願資格(1)～(8)に該当しない者で、出願資格(9)により出願を希望する者は、出願資格認定審査の手続を要するため、必ず事前に連携推進課入試担当に申し出て、その指示を受けたうえで、7月21日（金）までに必要書類等を提出してください。

3 出 願 手 続

- (1) 受付期間 平成29年（2017年）9月26日（火）から9月29日（金）まで
9月29日（金）までの消印を有効とします。

- (2) 願書提出方法（郵送のみ）

出願書類は「速達・簡易書留」で連携推進課入試担当宛に送付してください。なお、出願書類の封筒には必ず「入学願書在中（美術研究科修士課程）」と朱書きしてください。

送り先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学連携推進課入試担当

TEL (075) 334-2238

10月27日（金）までに受験票が到着しない場合は、電話等により連携推進課入試担当まで問い合わせてください。

- (3) 入学考査料 17,000円

ア とじ込みの「郵便振替払込用紙」により、郵便局窓口（ATMからの払い込みは不可）で払込んでください。（手数料要）

イ 願書提出後、考査料は一切返還しません。

- (4) 身体に障害を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、身体に障害（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・その他）がある方は、受験上及び修学上配慮を必要とすることがありますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

また、申し出に基づき、相談が必要となった場合は以下のとおりとします。

ア 申し出期限 平成29年（2017年）7月21日（金）まで

イ 相談の方法

下記事項（ア）から（オ）を記載した申請書（様式は問いません。）に医師の診断書を添えて提出することとし、必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。（期限後に、受験上及び修学上配慮が必要になった志願者は、速やかに連絡してください。）

（ア）志望専攻 （イ）障害の種類・程度 （ウ）受験上配慮を希望する事項

（エ）修学上の配慮を希望する事項 （オ）その他参考となる事項

4 出願書類

(1) 入学願書

用紙は本要項にとじ込み

記入する氏名は戸籍名と同一のこと。住民票が作成される外国籍の方は住民票の写しに記載されている氏名と同一のこと。

(2) 成績証明書

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

(本学卒業者又は見込者は提出の必要はありません。)

(3) 卒業証明書又は卒業見込証明書

(本学卒業者又は見込者は提出の必要はありません。)

出願資格(2)により出願する者は、卒業証明書にかえて学位授与証明書、又は卒業見込証明書にかえて下記の①②の書類を提出してください。

①志願者が在籍する短期大学の専攻科、又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書

②志願者が学士の学位の授与を申請する予定である旨の志願者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長の証明書

(4) 写真2枚

出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもの(4cm×3cm)を受験者写真票及び受験票に貼付してください。

(5) 受験票返送用封筒

本要項にとじ込みの指定封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、672円分の切手(速達・簡易書留)を貼付してください。

(6) 郵便振替払込受付証明書

入学考査料の払込みと同時に郵便局から交付される「郵便振替払込受付証明書」を同封してください。

(7) パスポートの写し(外国人留学生のみ)

外国人留学生(本学研究留学生を含む)は、パスポート(顔写真のあるページ)の写しを提出してください。

注1 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等(戸籍抄本や運転免許証の写し等)を添付すること。

2 英語以外の外国語で記載された書類を提出する場合は、日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。

3 官公庁その他会社等に在職中又は現在他大学の大学院に在籍中の者は、出願前に勤務先又は在籍する大学院の学長の受験許可が必要な場合がありますので、勤務先又は在籍する大学院の規程等を十分に確認のうえ出願してください。

5 試験日程及び試験科目 ※各専攻試験の日程については、志願者数に伴い、変更(短縮)される場合があります。

専攻分野	専攻科目	試験日時		試験内容および持参用具
絵	日本画	11月12日(日)	9:00~10:30	小論文 A
			11:00~12:00	外国語
		11月13日(月) 11月17日(金)	9:00~17:00 (12:00~13:00 休憩)	日本画 実技試験(月)~(金)自由課題による日本画制作(20号F) ※2年以内に制作した作品の写真をファイルにして持参してください。13日(月)実技試験開始前に回収します。 ※持参すべき試験用具 日本画用具一式 〔木製パネル(20号F 72.8cm×60.6cm)とドーサ引き済み麻紙は本学から貸与します。〕 ●日本画研究室8を希望する受験者については、上記日本画制作に替えて、課題による模写制作を行います。なお、課題は初日に提示します。 ※作品の写真ファイルの提出は上記と同様です。 ※持参すべき試験用具 日本画用具一式 〔木製パネルと美濃紙は本学から貸与します。〕
		11月17日(金)	[11月17日(金)のみ] 9:00~12:00	
	油画	11月17日(金)	13:00~	面接
		11月12日(日)	9:00~10:30	小論文 A
			11:00~12:00	美術史
			13:30~	作品提出 ・作品〔227cm×182cm(150号F)以内〕3点を提出。ただし持参不可能なものに限り、作品写真提出可。 ・A1以内のポートフォリオ1冊を提出。(作品写真、ドローイングなど) ※全て1年以内に制作したものに限り、個人作品と区別してください。
		11月13日(月)	9:00~	作品審査、面接
		11月14日(火)	9:00~	作品審査、面接
		11月15日(水)	9:00~	作品審査、面接
専攻	構設計	11月12日(日)	9:00~10:30	小論文 A
			11:00~12:00	外国語
			13:00~17:00	作品提出 過去に制作した作品の写真又は資料をファイルして提出すること。映像による作品提出の場合は、15分以内にまとめたもの(DVD)とする。 作品審査、面接 提出作品資料等によるプレゼンテーション及び面接を行います。(DVDプレイヤーとプロジェクターの貸与、及びノート型パソコン等の持込みは可。)
	版画	11月12日(日)	9:00~10:30	小論文 A
			11:00~12:00	外国語
			13:30~14:30	作品提出 ・過去1年間の作品を含む実作品10点 ・作品写真(ポートフォリオもしくはデジタルデータ)
		11月13日(月)	9:00~	面接(提出された作品や資料を基に制作意図、制作背景、研究計画、将来の展望などについての質疑)

専攻分野	専攻目	試験日時		試験内容および持参用具
彫刻専攻	彫刻	11月12日(日)	9:00～10:30	小論文A
			11:00～12:00	外国語
			13:30～15:30	専攻内小論文
			15:30～	作品資料提出 過去に制作した作品の写真、資料等をまとめたポートフォリオを提出すること。 (内、作品2点は過去1年以内に制作したものとし、本募集要項綴込みの用紙にて、その旨を証明すること。)
		11月13日(月)	9:00～	作品審査、面接 プレゼンテーション及び面接により行います。 プレゼンテーションは準備も含め10分以内。内容は実物の持参も含め自由です。パソコン(Mac OS)、プロジェクターは貸与可。プレゼンテーションに引き続き、面接を行います。
		11月14日(火)	9:00～	
デザイン専攻	ビジュアルデザイン	11月12日(日)	9:00～10:30	小論文B
			11:00～12:00	外国語
		11月13日(月)	9:30～10:30	作品提出3点 1年以内に制作したものに限り。なお持参不可能なものに限り作品写真を持参可。
			10:30～12:00	専攻内小論文
			13:00～17:00	実技試験
		11月14日(火) 11月15日(水)	9:00～17:00 (12:00～13:00 休憩)	※持参すべき試験用具 彩色用具(水彩、色鉛筆、ポスターカラー、アクリル絵具、フェルト色彩ペン等)筆記用具(鉛筆、消しゴム等)その他(定規、接着剤、筆等)
		11月16日(木)	9:00～12:00	
	環境デザイン	11月12日(日)	13:00～17:00	作品審査、面接
			9:00～10:30	小論文B
			11:00～12:00	外国語
	プロダクトデザイン	11月12日(日)	13:30～	作品審査、面接 ※提出作品 作品集(A3ファイル1冊、40頁以内、氏名を明記)を持参してください。
			9:00～10:30	小論文B
			11:00～12:00	外国語
			12:30～13:30	作品提出3点 1年以内に制作したものに限り。なお持参不可能なものに限り作品写真を持参可。
			13:30～15:00	専攻内小論文
		11月13日(月) 11月14日(火)	9:00～17:00 (12:00～13:00 休憩)	実技試験 ※持参すべき試験用具 製図用具一式(三角定規、T定規等を含む)彩色用具(水彩、色鉛筆、ポスターカラー、サインペン、フェルト色彩ペン等)筆記用具(鉛筆、消しゴム等)その他(図面固定用テープ、接着剤、筆等)
		[11月14日(火)のみ] 9:00～12:00		
		11月14日(火)	13:00～	作品審査、面接

- 注1 提出作品，提出ファイル又は提出論文には，本募集要項に綴込んである「提出作品・論文申請（誓約）書」を必ず添付してください。（用紙が不足する場合はコピーして使用してください。）
- 2 作品は指定日時に持参し，搬入，搬出は各自の責任において行ってください。作品の搬入を運送業者に委託する場合も，本人立会いのもとで行ってください。指定日時以外の搬入は受け付けません。
- 3 提出作品の引取りについては，各専攻試験期間中の指示に従ってください。
- 4 外国語試験は，英，仏のうち入学願書に記載の1カ国語を受験すること。受験当日の変更は認めません。なお，辞書の持ち込みは認めません。
- 5 小論文の問題はA，B，C，Dそれぞれ異なります。なお，辞書の持ち込みは認めません。（本科留学生志願者は辞書（何語でも）複数持ち込み可（電子辞書は不可）。）
- 6 専攻内小論文は，専攻試験の一部であり，各専攻によって問題が異なります。なお，辞書の持ち込みについては試験内容および持参用具欄に特別の記載のある場合を除き，上記5の通りです。
- 7 受験者は試験当日には必ず受験票を持参してください。
- 8 試験時間中は携帯電話等の通信記録機器の使用を一切禁止します。時計としての使用もできません。
- 9 集合時刻は，試験開始20分前とします。集合場所は学内に掲示します。
- 10 各試験，面接のいずれも，30分以上遅刻した場合は，受験資格を失います。
- 11 試験科目（作品等提出を含む）のうち1科目でも受験しなかった場合は失格となり，以降の試験科目の受験資格を失います。
- 12 入学試験当日に受験できなかった場合，追試験等の特別措置及び入学考査料の返還は行いません。
- 13 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ，麻しん，水痘等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は，他の受験生や監督者等への伝染の恐れがありますので，原則として受験をご遠慮願います。ただし，症状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は，この限りではありません。
- 〔参考〕過去3年間の試験問題は，月曜日から金曜日（祝日を除く）の午前9時から午後5時までの間に限り，連携推進課入試担当で閲覧することができます。また，過去1年間の試験問題は，著作権法上の関係により掲載できないものを除いて，本学ホームページ（<http://www.kcua.ac.jp/>）でも掲載しています。なお，電話・文書等による照会には一切応じません。

6 試験場所

京都市立芸術大学（京都市西京区大枝沓掛町13-6）

注 試験場への略図，交通機関については，裏表紙を参照してください。

7 選抜方法

共通試験（配点300点）と専攻試験（配点700点）を総合して判定します。

注 共通試験は，小論文試験（A～D）及び外国語試験（油画専攻は美術史）です。

8 合格発表

11月24日（金）午後4時（予定）本学内に掲示し、合格者には文書で通知します。

なお、合格発表日の午後5時（予定）から約1週間、本学ホームページ（<http://www.kcua.ac.jp/>）で合格者の受験番号を掲載します。（※注意）ただし、本学掲示発表ならびに、合格通知の発送をもって正式なものとしします。

電話による問い合わせには一切応じません。

※注意 本学ホームページでの合格者の受験番号掲載は情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障するものではありません。

9 入学手続

合格者に対しては、平成30年2月中旬に、入学手続等について通知を行います。本学の入学手続に際し必要なものは次のとおりです。

（1）入 学 料 市内出身者 282,000円

 市外出身者 482,000円

注 「市内出身者」とは入学前年の4月1日以前から引き続き京都市内に居住し、住民票の写しにより証明される者

（2）誓 約 書

（3）納 付 金

学生教育研究災害傷害保険料（2年間分）1,750円

学研災付帯賠償責任保険料（2年間分） 680円

美術教育後援会費（2年間分） 50,000円 ※本学卒業生は30,000円、留学生は払込不要

同窓会入会金 15,000円 ※本学卒業生及び留学生は払込不要

〔参考〕授 業 料 年額 535,800円（前、後期に分割納入することができます。）

注 上記の入学料及び授業料は、平成29年度入学者の場合であり、料金の改定があった場合は合格者に通知します。

10 試験の成績照会

受験者本人からの照会に対してのみ回答します。希望者は、**本学受験票（コピーは不可）**、長形3号の返信用封筒（受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、82円分の切手を貼付したもの）を同封の上、平成29年12月1日（金）から12月28日（木）までの間に郵送（期限内消印有効）又は持参により連携推進課入試担当に照会してください。

（期限後の照会には応じません。）

11 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

(1) 利用目的について

- ア 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- イ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- ウ 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- エ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における授業料減免及び奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- オ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

(2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- ア 上記(1) ア～オの個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合
- イ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うために、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- ウ 本学の教育後援会、同窓会に情報提供する場合（合格者のみ）

美術研究科専攻分野別研究室一覧

職名については平成29年5月1日現在

○印は平成31年3月末に退職予定の教員を示す。

専攻分野	専攻細目	研究室名	指導教員
絵画専攻	日本画	日本画研究室 1	浅野 均 教授
		〃 2	綾田 勝義 〃
		〃 3	日影 圭 〃
		〃 4	川嶋 渉 准教授
		〃 5	小島 徳朗 〃
		〃 6	三橋 卓 講師
		〃 7	(着任予定) 〃
		〃 8(模写)	大野 俊明 特任教授
	油画	油画研究室 1	Simon Fitzgerald 教授
		〃 2	石原 友明 〃
		〃 3	渡辺 信明 〃
		〃 4	法貴 信也 准教授
		〃 5	金田 勝一 〃
		〃 6	伊藤 存 〃
		〃 7(壁画)	赤松 玉女 教授
	構想設計	構想設計研究室 1	砥綿 正之 教授
		〃 2	高橋 悟 〃
		〃 3	石橋 義正 准教授
	版画	版画研究室 1	○出原 司 教授
		〃 2	大西 伸明 准教授
		〃 3	吉岡 俊直 〃
彫刻専攻	彫刻	彫刻研究室 1	中ハシ 克シゲ 教授
		〃 2	松井 紫朗 〃
		〃 3	中原 浩大 〃
		〃 4	小山田 徹 〃
		〃 5	金氏 徹平 講師
デザイン専攻	ビジュアル・デザイン	ビジュアル・デザイン研究室 1	辰巳 明久 教授
		〃 2	滝口 洋子 〃
		〃 3	楠田 雅史 〃
		〃 4	舟越 一郎 准教授
	環境デザイン	環境デザイン研究室 1	堀口 豊太 教授
		〃 2	藤本 英子 〃
		〃 3	坂東 幸輔 講師
	プロダクト・デザイン	プロダクト・デザイン研究室 1	○塚田 章 教授
		〃 2	高井 節子 准教授
		〃 3	牛田 裕也 講師

専攻分野	専攻細目	研究室名	指導教員
工芸専攻	陶磁器	陶磁器研究室 1	○秋山陽教授
		〃 2	長谷川直人 〃
		〃 3	重松あゆみ 〃
		〃 4	森野彰人 准教授
		〃 5	○永樂善五郎 特任教授
	漆工	漆工研究室 1	栗本夏樹 教授
		〃 2	安井友幸 准教授
		〃 3	笹井史恵 〃
		〃 4	大矢一成 講師
	染織	染織研究室 1	三橋遵 教授
		〃 2	藤野靖子 〃
		〃 3	日下部雅生 〃
		〃 4	藤井良子 准教授
		〃 5	野田涼美 特任教授
芸術学専攻	芸術学	芸術学研究室 1 (美学・芸術学)	加須屋明子 教授
		〃 2 (デザイン学)	○砂山太一 特任講師
		〃 3 (日本美術史・絵画)	田島達也 教授
		〃 4 (日本美術史・彫刻)	礪波恵昭 准教授
		〃 5 (東洋美術史)	竹浪遠 〃
		〃 6 (西洋美術史)	深谷訓子 〃
		〃 7 (工芸史)	吉田雅子 教授
		〃 8 (〃)	畑中英二 准教授
		〃 9 (美術教育学)	横田学 教授
		〃 10 (〃)	三木博 〃
保存修復専攻	保存修復	保存修復研究室 1	宇野茂男 教授
		〃 2	高林弘実 准教授
		〃 3	竹浪遠 〃

共通科目担当教員一覧

担当教員	授業科目
井上明彦 教授	造形計画 特講
上英俊 准教授	身体環境解析論
玉井尚彦 〃	言語表現論 特講
中村翠 講師	比較文芸論 特講
永守伸年 〃	現代社会哲学 特講

志 望	専 攻 分 野	専 攻 細 目	受 験 番 号	※
	専攻		受験番号	番
外国語選択受験科目 (いずれかを○で囲むこと。)		英 語 ・ 仏 語	第2外国語選択受験科目 (芸術学専攻の志願者のみ) (いずれかを○で囲むこと。)	
氏 名	フリガナ	男 ・ 女	生 年 月 日	昭和 平成 年 月 日生 西暦 平成30年4月1日現在満年齢 () 歳
出 願 資 格	(出身大学名)	卒又は 業卒業 年見 月込	学部 学科 専攻 年 月 卒業・卒業見込	
現 住 所	〒 () 自宅 () - () 携帯 () - ()			
希 望 す る 研 究 室 名	第1 志望 指導教員 ()	第2 志望 指導教員 ()		
(入学後希望する専攻分野において、主に研究したい課題について述べること。)				

以上のとおり相違ありません。

年 月 日

氏名

印

注1 ※欄は記入しないこと。
2 外国語の選択科目の記入を忘れないこと。(油画専攻は除く)
3 第2外国語選択科目の欄は、芸術学専攻の志願者のみ記入のこと。

履歷書

年	月	学歴・職歴・業績
(学歴) 高等学校入学から記入のこと。 ただし、出願資格(3)(4)(5)(6)に該当する者は初等教育(小学校)、中等教育(中学校・高等学校)、高等教育(大学・大学院)において在籍したすべての学歴を記入すること。また、大学等で研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること。		
		入学
		卒業
		入学
		卒業
		入学
		卒業
		入学
		卒業
(職歴)		
(主たる業績)		

以上のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名



注 履歴書に事実と反する記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

提出作品申請(誓約)書

京都市立芸術大学大学院 美術研究科長 殿

参照用

専攻	専攻分野	専攻細目
受験番号・氏名	番・氏名	
題名		
制作年 月 日	年	月 日

上記のとおり、この作品は私が所定の期間内に制作したものに相違ありません。

年 月 日

氏名 (印)

提出作品申請(誓約)書

京都市立芸術大学大学院 美術研究科長 殿

参照用

専攻	専攻分野	専攻細目
受験番号・氏名	番・氏名	
題名		
制作年 月 日	年	月 日

上記のとおり、この作品は私が所定の期間内に制作したものに相違ありません。

年 月 日

氏名 (印)

提出作品申請(誓約)書

京都市立芸術大学大学院 美術研究科長 殿

参照用

専攻	専攻分野	専攻細目
受験番号・氏名	番・氏名	
題名		
制作年 月 日	年	月 日

上記のとおり、この作品は私が所定の期間内に制作したものに相違ありません。

年 月 日

氏名 (印)

平成30年度 受 験 者 写 真 票 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程	
受 験 番 号	※
専 攻 分 野	専 攻 細 目
専攻	
フリガナ	
氏名	
昭和 平成 西暦	年 月 日生 男・女
(4×3cm) 写真貼付欄 { 点線の枠内に正しく貼ること。 }	

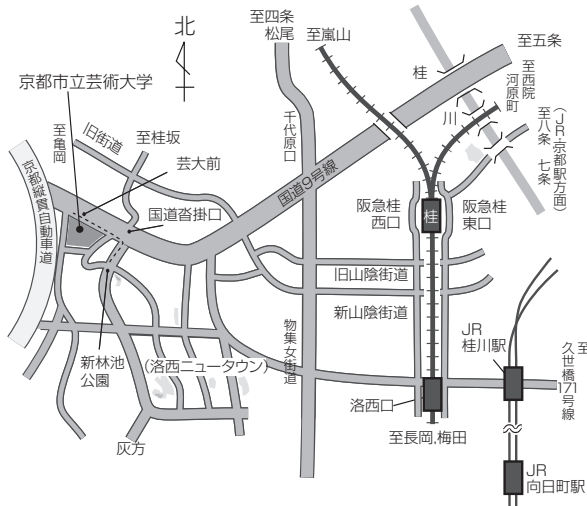
参照用

平成30年度 受 験 票 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程	
受 験 番 号	※
専 攻 分 野	専 攻 細 目
専攻	
フリガナ	
氏名	
昭和 平成 西暦	年 月 日生 男・女
(4×3cm) 写真貼付欄 { 点線の枠内に正しく貼ること。 }	

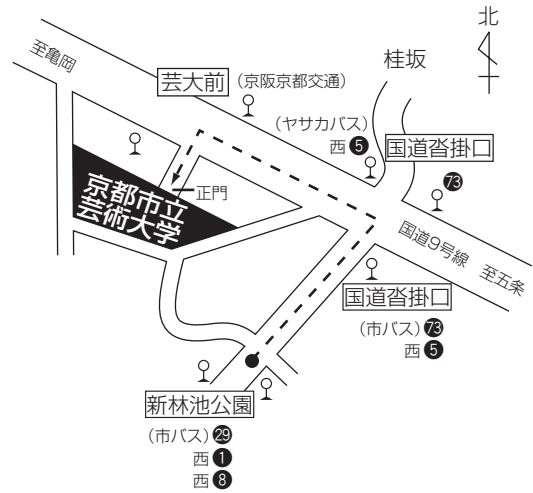
試験会場

京都市立芸術大学（京都市西京区大枝沓掛町13-6）

◆試験会場への略図



◆試験会場周辺略図



◆試験会場への交通機関

平成29年 5月1日現在

主要な駅	のりば	バスの種類	乗車時間	最寄りのバス停	バス停から大学までの所要時間
京都駅	C2 のりば	京阪京都交通バス (2・14・28A 系統)	約 45 分	芸大前	徒歩すぐ
	C5 のりば	市バス (73 系統)	約 45 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
阪急烏丸駅	四条烏丸 E のりば	市バス (29 系統)	約 50 分	新林池公園	徒歩約 20 分
阪急桂駅	桂駅東口 ②のりば	京阪京都交通バス (1・2・13・14・25・28A 系統)	約 20 分	芸大前	徒歩すぐ
	桂駅西口	市バス (西 1・西 8 系統)	西 1 は約 20 分 西 8 は約 25 分	新林池公園	徒歩約 20 分
		市バス (西 5 系統)	約 20 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分
JR 桂川駅 (阪急洛西口駅経由)		京阪京都交通バス (11A 系統)	約 15 分	芸大前	徒歩すぐ
JR 向日町駅 (JR 桂川駅・ 阪急洛西口駅経由)		ヤサカバス (1 号系統)	約 25 分	国道沓掛口	徒歩約 10 分

【注意】

- 交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
- バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

平成29年（2017年）7月
京都市立芸術大学 連携推進課 入試担当
〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
Tel 075-334-2238 Fax 075-334-2281
<http://www.kcua.ac.jp>

